



日 時 昭和 54 年 11 月 18 日 (日)

午 後 1 時 30 分 開 演

会 場 浜 松 市 民 会 館 ホ ー ル

主 催 浜 松 市 教 育 委 員 会

共 催 浜 松 社 会 人 演 劇 連 盟

13時30分～14時30分 演劇サークル「鬼の村」

※静岡県芸術祭演劇コンクール参加作品

林 黒土 作 「黒い太陽」

《スタッフ》

演 出	外 山 朋 浩
舞台監督	瀬 戸 栄 寿
照 明	柳 谷 国 之 助
効 果	高 柳 正 行
装 置	松 本 武 志
	松 井 愛 治
衣 裳・ メイク	新 田 正 子
	桐 野 洋 子
情 宣	柳 谷 国 之 助
	一 盃 森 信 子
	遠 藤 美 智 子

《キャスト》

マ リ (黒人混血児)	16才	小 倉 綾 子
ひ で (マリの祖母)	65才	伊 藤 耕 一 子
エミリー (マリの友人)	16才	藤 田 孝 子
敬 太 (朝鮮の少年)	13才	平 尾 弘 子
竹 本 (郵便配達夫)	50才	外 山 朋 浩
芳 子 (村の少女)	15才	森 下 京 子
村 人		大 場 章 吾
		大 野 春 雄
		鈴 木 宏 和

その他 村の子供

☆あらすじ☆

戦後の社会は、人々の不安と戦争に対する憎しみ、そして絶望の時代であった。

その時代に生まれた黒人混血児のマリとエミリー！

彼女たちは、人々の後指さず冷たい目と態度を身に受けて感じるのであった。

しかし、ただ一人の身内祖母と暮すマリはひたむきな希望を持って生きようとするのだった。そして、失望と人々に対する憎しみを持ってホームを飛び出して来たエミリーを、マリ自身に起った不運を通して生きことの喜尊さをなげかけるのであった。

現在の私たちが生きる上においても、ある意味では、マリやエミリーのように数々のハンディーを大小にかかわらず持っていたり、感じているのではないでしょうか。

その意味において、私たちにとって戦後30年が過ぎ去った現在においても「黒い太陽」は身近な作品ではないでしょうか。

《サークル紹介》

私たち浜松短期大学演劇サークル「鬼の村」は、昭和47年に発足し今年で7年目を迎えました。

当初は1部・2部合同でしたが、現在では2部のサークルとして活動しています。昼間はそれぞれ職業をもち夜は学生として学びその後のわずかな時間をサークル活動に情

熱を燃やしています。

個性豊かなサークル員が、その持ち味をおおいに生かし、青春をおう歌しています。
又、公演においてはOBの皆さんとの協力によるところが大きく重要な支えになっています。
今年は学園祭の一貫として、北部公民館にて「54年度公演」を催しました。

また、このたび市の芸術祭に参加するにあたり「鬼の村」一同チームワークと気力で頑張ります。

14時50分～15時50分 浜松放送劇団

※静岡県芸術祭演劇コンクール参加作品

福田 薫 作 「おしやり」

《スタッフ》

演 出	村 越 一 哲
舞台監督	古 賀 昭 隆
装 置	西 脇 章 章
	小 栗 雅 雅
照 明	石 川 庄 治
効 果	中 村 昂 平
	三 ツ 井 康 雄
衣 裳	中 川 ま ち 子

《キャスト》

た き (藤十郎妻)	鈴 木 美 津 江
か よ (娘)	富 田 洋 子
き み (村の娘)	田 中 て る み
く ら (〃)	黒 柳 藤 重 弓
猪 之 吉 (女銜)	岡 本 和 孝
古 川 (検番)	古 賀 隆 昭
た み (女工募集係)	鈴 木 多 見
ま き (新工)	鈴 木 万 起
と も (〃)	岡 本 緑 子
ま さ (〃)	武 田 京 真 弓
よ し (〃)	加 黒 柳 八 重 美
ふ く (村の娘)	柴 田 明

《口 概》

明治15年7月、京城（ソウル）で朝鮮国王の実父である、大院君の指令をうけた兵士が日本の公使館を襲撃した所謂、壬午の軍乱で清国軍は巧みに立廻って大院君を逮捕し、反乱を鎮圧するとともに、日本を牽制しながら朝鮮半島への軍備を着々と増強し、韓国との従属関係を強めることに成功するに至った。

明治維新政府は、確かに清国との戦争を決意し、近代陸海軍建設を早急に成し遂げるべく、計画的に国民の大多数を示める、農民、市民に対して重税を課した。（裏へつづく）

そのしわよせは、たちどころに現れ、農村は疲弊し困りぬいた農民は田畠を手放し、娘を売って糊口をしのぐありさまであった。

時も時、明治17年2月、「賭博犯処分細則」なる法規がきめられた。それは、裁判によらず、ただ警察官の即決によって、懲役にも罰金にも処分が決められるという、全く人権を無視したものであった。為に、清水次郎長を始め、全国で名のある博徒が次々と捕られられ、牢につながれるという事態に陥り、憤激した博徒は反権力的な方向を辿っていった。

明治17年4月、たまりかねた農民3000人と上州に2000余の子分をもつ山田城之助親分と群馬県一円の博徒3000人が群馬自由党のもとに、5月1日に予定された日本鉄道高崎線開通式に集る、大臣、重臣を急襲して、人質にすると共に、高崎連隊を攻め破って一挙に明治政府を覆すべく計画をねっていた。

そう云った時代を背景にして、ここ群馬県北甘楽郡中里村では、博徒神戸藤十郎の娘、かよが友人のきみと共に富岡製糸に勤めるための準備に余念がなかった。

そして……。

《劇団紹介》

創立は昭和22年ですから本年で32年になります。

劇団員の出演した作品（ラジオ・テレビ・舞台等）は千数百本の多きに達し、静岡県では最も古い歴史をもつ劇団として活躍しています。

この間、幾多の表彰を受け、最近では市の「成人式」等にも出演し幅の広い活動を行なっています。

かねてから準備中の幕末から明治にかけて「井上藩」の末路を画いた、村越一哲作「遠州倉松上杉十人斬り」（たき女覚え書き）を一日も早く上演するよう準備中です。

登場人物も多いので、多くの皆さんのご参加を望んでいます。

劇団研究生を募集しています。

演出、演技、装置、照明、効果等御希望の方はどなたでも歓迎します。

下記へ御連絡下さい。

浜松市鍛冶町140—4 丸市商事内

浜松放送劇団 (54) 8151